

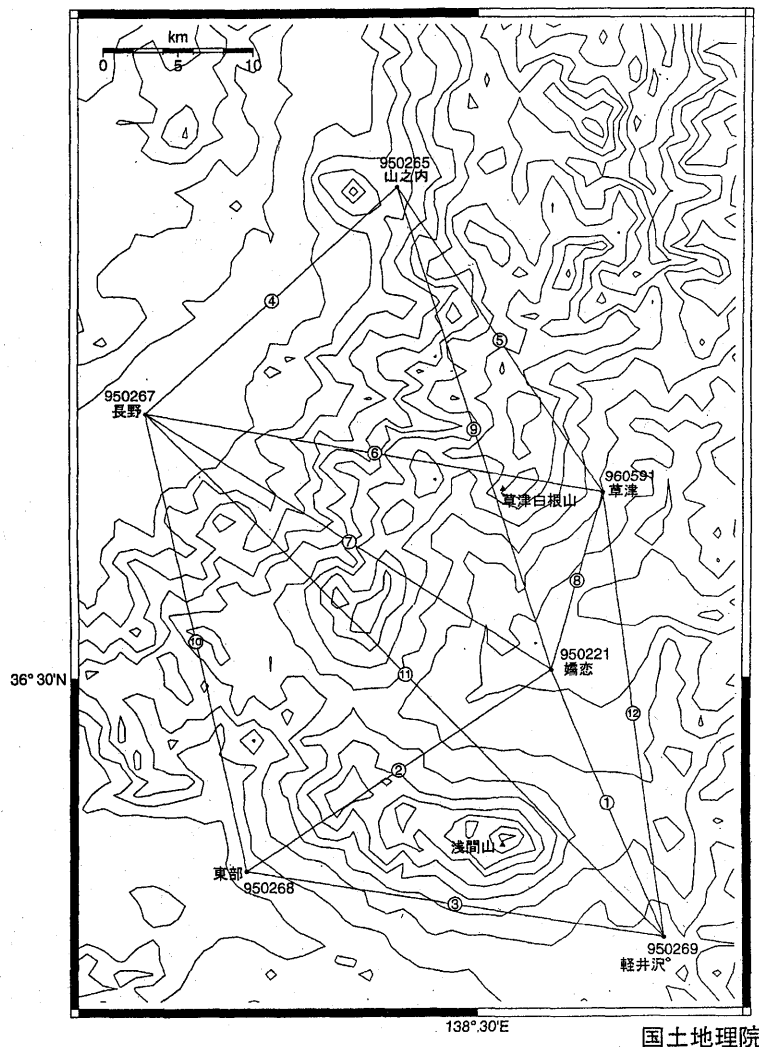
草津白根山・浅間山周辺地域の地殻変動*

Crustal deformations of Mts. Kusatsushirane and Asama and their surrounding area

国土地理院
Geographical Survey Institute

第1-1図～第1-2図は、草津白根山および浅間山周辺のGPS連続観測結果（抜粋）である。浅間山をまたぐ東部-嬭恋基線（②）の時系列において、2002年6月頃から傾向の変化が見られる。この時期に浅間山周辺の地震数が増えている。この基線は、過去にも浅間山周辺の地震活動に呼応して伸びる性質を示しており、この変化は地震活動に伴って発生していると考えられる。地震活動に伴って、地下では、何らかの物質移動または圧力変化が起こっていることが示唆される。

草津白根・浅間 GPS 連続観測基線図



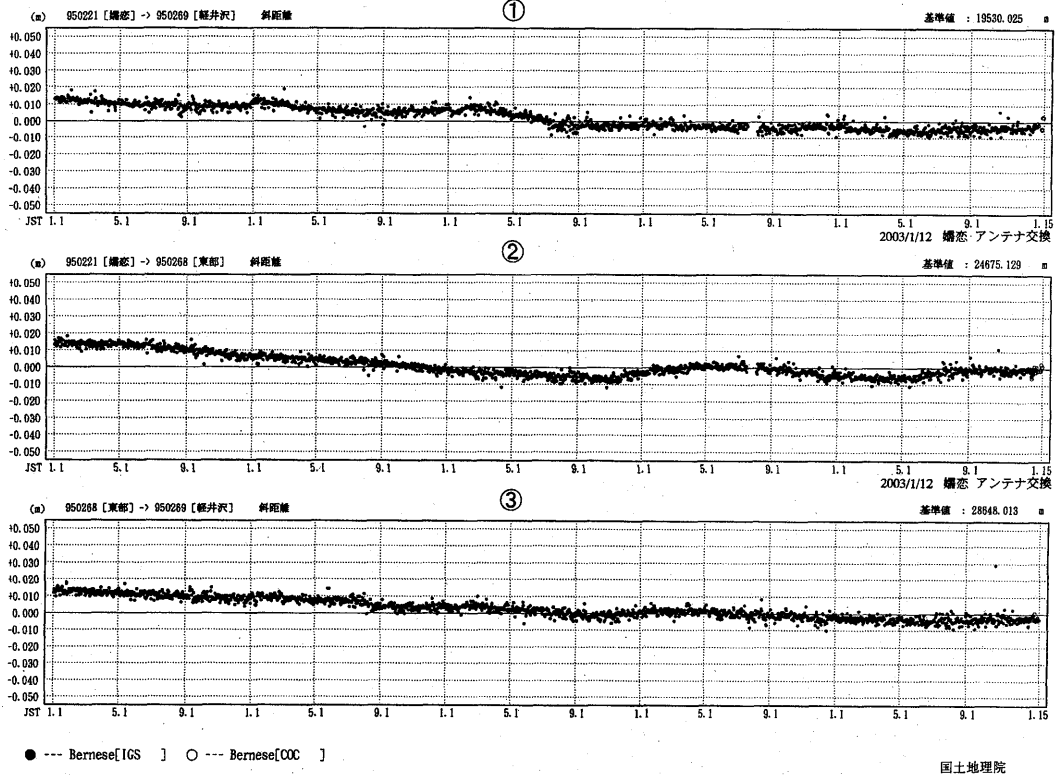
第1-1図 草津白根山・浅間山周辺GPS連続観測結果(1998年1月～2003年1月)
Fig.1-1 Results of Continuous GPS Measurements around Mts. Kusatsushirane and Asama during January 1998 to January 2003.

* Received 11 April, 2003

期 間: 1998年1月1日 ~ 2003年1月14日

基線長変化グラフ

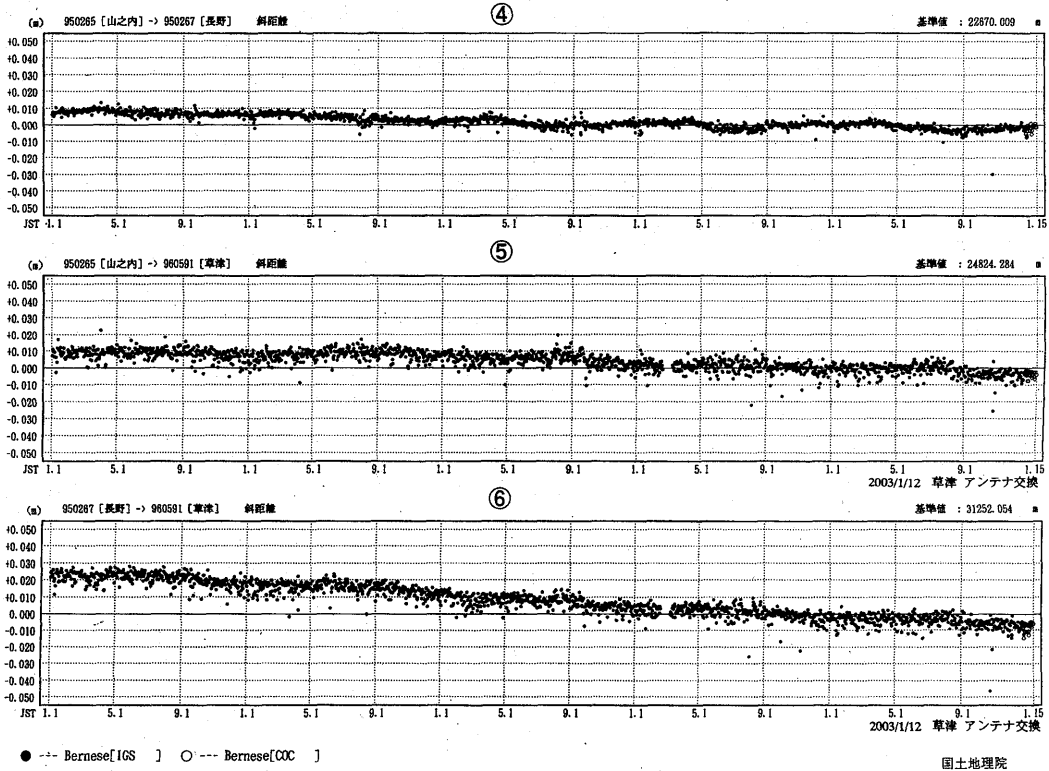
(1/4)



期 間: 1998年1月1日 ~ 2003年1月14日

基線長変化グラフ

(2/4)



第1-2図 草津白根山・浅間山周辺GPS連続観測結果(1998年1月~2003年1月)
 Fig.1-2 Results of Continuous GPS Measurements around Mts. Kusatsushirane and Asama during January 1998 to January 2003. Crustal deformation associated with a swarm earthquake episode around Asama volcano in the summer of 2002 is detected by the continuous GPS measurement of baseline No.2 that is between Tumagoi and Tobu.